

AIC 400 years



AICはあらゆる形の貧困や差別を無くすために戦うためのネットワーク組織です。ヴィンセンシオ・ア・パウロが400年前（1617年8月23日）にフランスのシャティオンで設立して以来、ボランティアの人々と共に貧困にあえぐ弱い人々の一人一人が尊厳を取り戻し、人間として持てる力を発揮し、その夢を育て上げ、豊かな人生を実現できるよう、援助し続けてきています。

この活動による受益者の80%は婦人や子ども達であり、極貧で差別を受けている婦人達を援助するためには特に力を注いでいます。人々の自立を促すための各種の職業訓練も実施しています。地域を超えて財政や知識経験の相互援助も含む合同プロジェクトを協力しながら進めています。貧困を防ぎ、根絶するために為に私達は教育が重要であると考えています。平和と公民権を理解し、生活環境を改善する事はまず必要な事であるからです。

AICの組織は、インターナショナル・プレジデントを頂点として、各国の代表であるプレジデントが2年毎に集まり、執行役員（現在8名）を選定して各2年間の活動計画を定めて行くという動きをしています。検討される主な内容は世界で貧困や差別によって被害を受けている人々への援助計画はもちろんですが、働いているAICボランティアの人々への活動サポートという側面も含まれます。

現在この活動は世界の4大陸、53ヶ国に拡がり、働いているボランティアの人々は15万人に達しており1万3千種類にも及ぶ各種の活動を異なる言語、習慣の人々が連帯しながら続けているのです。

私達AICは世界で2百万人を超えるメンバーを擁する組織であるヴィンセンシアン・ファミリーの一員として人生に希望をもたらすための活動を続けています。皆さんどうぞ私達の活動に御参加ください。



YouTubeでAIC400年の映像をご覧ください。

YouTube AIC400

検索 🔍



神戸での活動

日本では神戸と和歌山で活動をしています。神戸は20年前にフィリピンの里親支援からスタートしました。現在では、インド、ラオスへの支援へと広がり、教育支援を柱に活動を続けています。



フィリピン・インド・ラオスへの教育支援

教育は自立した人間として生きていくための、人間形成の基礎です。AIC-Japanの教育基金は、フィリピンから始まりました。現在はフィリピンのD.C.センター、タイAIC、インドやラオスの愛徳姉妹会のシスター方と対話を重ね、支援金を送っています。



ラオス・水のプロジェクト（井戸・配水管設置/電動井戸掘削）

2011年、ラオスの首都ヴィエンチャン近郊の村に井戸2基を支援しました。翌年には12箇所まで水が汲めるようになり、現在は電動式ポンプの設置が完了しました。現地からは試行錯誤の様子が報告されています。ラオスへの支援は現在も継続中です。



ラオス・栄養改善

2010年よりタイの国境ラオスの子ども達の栄養状態改善のために支援金を送っています。栄養失調のため髪が抜けたり、皮膚病を患っていたりと細い身体で精一杯生きている子ども達の栄養状態が、少しでもよくなるようにと、現地ではビスケットを配ったり、食事会を開いたりしました。



子どもの里

大阪・釜ヶ崎の子どもたちの健全で自由な遊び場として1977年にオープンした「子どもの里」。現在は、遊びだけでなく学び、生活の場として地域に根付いています。チャリティコンサートの収益を寄付させていただいたことがご縁で、現在も月一回メンバーがお手伝いに通っています。



その他の支援・活動

- ・東日本大震災被災者支援、フィリピン台風被災地支援、熊本地震被災地支援
- ・船員さんの帽子編み
- ・滞日外国人支援（日本語の不自由な外国人患者さんに向けてのマニュアル制作）
- ・マナ助産院応援団体
- ・個人の活動（炊き出し、夜回り、高齢者施設訪問、障害者施設訪問各時など）
- ・バザーやチャリティコンサートの開催
- ・ニュースレターの発行（月2回）など